

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（企画担当）	・競合他店の増床オープンがあり一時的に客足に影響を受けるが、街が活性化し消費の起爆材になる。
		百貨店（企画担当）	・同業他店による大幅改装があり、その前後のセールやイベントで地区全体の購買意欲が高まる。また、婦人服を中心としてファッション業界が新しい季節商材を数多く投入しているため期待できる。
		家電量販店（店員）	・テレビを中心にデジタル関連商品が動いてくる。
		乗用車販売店（経営者）	・益明け以降各社が新型車を投入する予定であり、相乗効果がある。
		乗用車販売店（従業員）	・モーターショーや新型車の投入がある。
		旅行代理店（経営者）	・来客数や問い合わせが顕著に増加している。
		旅行代理店（従業員）	・個人客の増加に伴って団体客も増加する。ただし、冬場にはSARSが再発生することも懸念される。
		旅行代理店（従業員）	・行楽シーズンに向けて、団体客に動きが出てきている。海外旅行も増えてきている。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・見積などの問い合わせが増加してきている。
変わらない		一般小売店〔酒〕（経営者）	・客は商品を慎重に選んでおり、安価な商品を探してディスカウント店に流れている。現状維持で耐える状況が継続する。
		百貨店（売場主任）	・話題性がある商品に対しては集客があるが、一般には購買意欲は変わらない。
		百貨店（売場主任）	・中元商品の解体セールを行ったが、来客数は少なく会場はガラガラの状態である。
		百貨店（企画担当）	・来客数、購買客数、購買単価がようやく前年を上回るようになり、若干の明るさがみえる。
		百貨店（経理担当）	・店頭の売上は増加しているが、法人の売上が依然として良くない。
		スーパー（店長）	・量販店に客と物が集まる傾向がより鮮明になってきている。個人店には厳しい状況が継続する。
		スーパー（店長）	・早期割引の中元商品はまずまずの動きであったが、その後は前年並みであった。クリアランスも一部人気商品には集客があったが、その他はただらとした動きで、ここ数年と同じような傾向である。
		スーパー（店員）	・前年と比較して来客数、客単価とも良くなり、その影響で売上が減少している。
		スーパー（総務担当）	・中元商品に伸びがない。不必要なものはできるだけ節約する傾向がみられる。
		スーパー（仕入担当）	・競合店に取られていた客足が戻っているため、天候不順が解消されれば今後は良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も競合店の出店予定があり厳しい状況であるが、何らかの仕掛けをすれば、こだわりのある商品は高額商品でも動きが良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・売上の前年割れは今後も続く。同業他社や量販店との競合もさらに厳しくなっていく。
		コンビニ（売場担当）	・ボーナスが出ず天候も不順で、海など観光地への出足も鈍く、小売業者によって良い環境にはない。
		衣料品専門店（企画担当）	・ファッション衣料に対する購買意欲は相変わらず低く、特にオンシーズン商材の動きが甚だしく悪い傾向が続いている。
		家電量販店（経営者）	・販売促進に力を入れているが、デフレが続く売上は増加しない。まだまだ低空飛行の状態である。
		家電量販店（店員）	・単価は上昇傾向にあるが、全体の販売量は減少している。
		自動車備品販売店（経営者）	・ボーナス期にもかかわらず高額商品が伸びていない。嗜好品より必需品や消耗品が売上の主流を占めているため、売上の伸びは期待できない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車種の投入予定があり、相乗効果によって来客数と売上は増加する。
		一般レストラン（経営者）	・冷夏が影響し客の動きに大きな変化がみられない。かき氷など利益率のあるものもまったく売れず、売上増加は見込めない。

	一般レストラン（スタッフ）	・来客数、販売量の横ばい状態が継続している。
	スナック（経営者）	・たばこの値上がりで禁煙する人が出る状況であり、飲酒する人はもっと少なくなる。
	スナック（経営者）	・収入が減ると真っ先に削られる業種であり、同業者は皆困っている。
	スナック（経営者）	・倒産する同業者も出てきているが、経費の節約などで維持していく。
	都市型ホテル（スタッフ）	・盆の予約状況はあまり良くない。
	タクシー運転手	・接待などの夜の客はまだまだ厳しい状態が継続する。
	ゴルフ場（経営者）	・予約状況には回復の兆しがみられる。しかし料金は下がる一方であり、全体が上向きになるかどうかはまだ明確ではない。
	ゴルフ場（企画担当）	・客単価をいかに上げるかが課題であるが、入場者数の増加でカバーできる。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅金融公庫の金利動向にも客は反応せず、意欲自体が薄れてきている。
	住宅販売会社（従業員）	・長期にわたる収入減や不安定な雇用状態が影響して、戸建住宅や分譲マンションを所有するのではなく、身軽に転居ができ負担が少ない賃貸住宅志向者が増えている。
	住宅販売会社（業務担当）	・販売量にやや増加傾向が見られるが、単価が低下したまま回復が見込めない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・定番商品では売上増加が望みにくいため、季節商品に力を入れていく。しかし夏商品の売行きも悪く、良くなる材料が見当たらない。
	百貨店（販売促進担当）	・バーゲン時期になって売上が伸びる状況で、下期も同様になる。
	スーパー（経営者）	・中小の商店は大型店のチラシや出店に影響を受けており、来客数は減少していく。中小商店は壊滅的である。
	スーパー（店長）	・中元ギフトにも低単価志向、実質志向がみられる。また社会保険料の負担増やたばこの値上げにより、節約志向は一層高まる。
	コンビニ（経営者）	・割安な商品を必要な量だけ購入する傾向が定着してしまっている。衝動買いなどはありえない状況である。
	コンビニ（店長）	・冷夏の影響で米、野菜、果物などが値上がりし、消費は冷え込む。
	衣料品専門店（経営者）	・売上の減少傾向に加えて天候不順も影響する。
	乗用車販売店（従業員）	・客との会話でも、夏休みのレジャーの話が出ることは少ない。
	住関連専門店（営業担当）	・新築の住宅物件、民間の設備投資、公共投資とも増加する状況にはない。
	旅行代理店（経営者）	・海外旅行はSARSの影響がまだ根強くある。国内旅行も予想より伸びていない。天候不順の影響で1泊2日商品の売上も悪い。
	通信会社（営業担当）	・東海地域は全国と比較すると増加傾向にあったが、4月以降は減少傾向に転じている。
	理美容室（経営者）	・常連客の来店回数が減っている。
	美容室（経営者）	・客の来店間隔が伸びている。
	設計事務所（経営者）	・計画案件は出てきているが、実設計に移るまでに時間がかかるのが現状である。
悪くなる	コンビニ（店長）	・客数の減少に歯止めがかからない。
	高級レストラン（スタッフ）	・予約客は前年より増加傾向にあるが、一般客の激減が続いている。近隣の競合他店舗も似たような状況である。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	食料品製造業（経営者）	・全体として上向き傾向にある。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新規住宅着工件数が増加しているため、受注戸数、受注金額とも対前年比15%以上好転している。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・公共工事向けの仕事が順次進められており忙しくなる。
	建設業（企画担当）	・中部国際空港と愛知万博関連の工事が動き始めており、各社のコストダウン競争がし烈になることも予想されるが、今後は少し良くなる。
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・仕事を確保するのがやっとの状況である。
	印刷業（営業担当）	・受注がままならない状況は今後も続く。

		電気機械器具製造業（経営者）	・現在の横ばい状態が2年間続いている。
		電気機械器具製造業（従業員）	・受注は増加しているが、競合他社が撤退している影響である。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・おう盛な設備投資はほとんどが海外で行なわれている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・内示生産計画は相変わらず厳しい。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	・生産負荷は横ばいである。
		建設業（経営者）	・価格の低下は行き着くところまで行き着いており、職人の日当が削られている状態である。
		輸送業（エリア担当）	・通常なら輸送量の伸びが加速する時期であるが、今年は例年通りの傾向にはない。
	やや悪くなる	金属製品製造業（従業員）	・設備投資の受注は先月に引き続き厳しく、現在の水準を維持できるかどうか分からない。
		金属製品製造業（社員）	・生産量など物の動きは活発化するものの、低価格の受注による影響が今後本格的に出してくる。
		一般機械器具製造業（販売担当）	・引き合いの受注精度は上がっているが、案件数自体が減り続けている。計画の中止や延期となる案件も増えてきている。
		企業広告制作業（経営者）	・現時点では新規取引がなく、じり貧状態にある。
	悪くなる	非鉄金属製品製造業【鋳物】（経営企画）	・市場の縮小に伴って受注単価はますます下がる。
		経営コンサルタント	・分譲住宅の売行きが悪い。所得水準の低下のため賃貸住宅の家賃を半年も滞納するケースが目立つ。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・秋以降の派遣予約が少しずつ増加している。
		人材派遣会社（社員）	・金融関係では人材の供給が間に合わない状況で、今後良くなっていく可能性がうかがえる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・海外の生産拠点からのリターン現象がみられ、雇用を押し上げている。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・求人数の増加にはまだ至っていないが、景況感の改善を感じる。
		職業安定所（所長）	・万博関連企業からの求人が増加する。
		職業安定所（職員）	・企業の人員整理は、建設業の一部を除いて落ち着きをみせている。管内の基幹産業である製造業の求人もやや増加傾向にある。パート化、派遣社員化はみられるものの、改善の方向へ向かっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・今後は採用に徐々に勢いが出てくる。
		学校【大学】（就職担当）	・特定分野に強かったり即戦力になる人材の要望が強くなってきている。
		変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）
		新聞社【求人広告】（担当者）	・新卒者の募集も含め、求人はやや増加する。
		職業安定所（管理部門担当）	・就職件数がやや減少しており、雇用のミスマッチが多い。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・求人数は増加しつつあるが、少数精鋭の採用条件になっており、就職になかなか結びつかない。
		職業安定所（職員）	・倒産件数は減少しているが、希望退職者の募集を実施する事業所は増加する。雇用調整給付金制度への問い合わせが増えている。
		民間職業紹介機関（職員）	・正社員の採用ではなく派遣社員やパートを採用する動きが加速している。
	悪くなる	-	-